

<http://teruhanomori.com/>

木から 森

学ぶもの

森が教えてくれる
あんなこと
こんなこと

撮影：石井正敏

- とき 2009年11月21日(土) 午後1時30分～4時30分
- ところ 宮崎市民プラザ 4階 ギャラリー

主催：独立行政法人 森林総合研究所・てるはの森の会・NPO法人 宮崎文化本舗 共催：九州森林管理局 後援：宮崎県・宮崎市
お申し込み＆問合せ先：てるはの森の会（詳しくは裏面をご覧ください）

入場無料 〒880-0014 宮崎市鶴島2丁目9-6 みやざきNPOハウス403号 TEL 0985-35-7288 FAX 0985-35-7289
電子メール：teruha@miyazaki-catv.ne.jp

プログラム

- 主催者あいさつ 「てるはの森の会」代表 上野 登
- 綾の照葉樹林復元プロジェクトの概要 宮崎森林管理署長 笹岡 哲也
- 研究発表
 1. 日本の照葉樹林 - 宮崎の森を中心に -
山本 進一氏 名古屋大学
 2. 照葉樹林における樹木と動物の多様な関係
小南 陽亮氏 静岡大学
 3. 照葉樹林の葉はいつ落ちる？ - 落葉から見た森の姿 -
佐藤 保氏 森林総合研究所
 4. 現代における照葉樹林の文化的社会的な意義
湯本 貴和氏 総合地球環境学研究所
- 総合討論



森から学ぶもの

近年、温暖化や生物多様性の保全が地球規模の問題として取り上げられているなか、照葉樹林に関しては様々な大学・研究機関が様々な研究・調査を続けてきています。専門家や一部の方々などから照葉樹林の重要性・希少性が指摘され、照葉樹林を保全・修復する動きも広がりつつあります。しかし、貴重な照葉樹林を身近に有する宮崎市民でも、その素晴らしさに気づいていない方々も多くいらっしゃるようです。これまでの研究でわかってきた照葉樹林の成り立ちや維持されているしくみなどを一般市民の方々にもわかりやすく伝えることにより、照葉樹林の重要性をより多くの方々知ってもらうことを目的として、照葉樹林研究フォーラムを企画いたしました。

講演者プロフィール

山本 進一氏

名古屋大学 総長顧問・教授

1984年京都大学大学院修了。農学博士。岡山大学助教授を経て1996年より名古屋大学教授。名古屋大学理事・副総長（2004～2008年）を経て現在名古屋大学 総長顧問。

小南 陽亮氏

静岡大学 教授

1989年東北大学大学院修了。理学博士。森林総合研究所九州支所チーム長を経て2004年静岡大学教育学部助教授就任。現在同教授。

佐藤 保氏

森林総合研究所 主任研究員

1990年宇都宮大学卒業。農学博士。森林総合研究所九州支所暖帯林研究室を経て現在同（本所）植生管理研究室主任研究員。

湯本 貴和氏

総合地球環境学研究所 教授

1987年京都大学大学院修了。理学博士。神戸大学講師、京都大学生態学研究センター助教授を経て、現在総合地球環境学研究所研究部教授。

参加ご希望の方は下記の申込書に必要事項を記入のうえ、11月16日（月）までにFAX・郵送・又はメールにて事務局までお申込下さい。
なお定員を超える場合は先着順とさせていただきます。

FAX 0985-35-7289 / E-Mail teruha@miyazaki-catv.ne.jp

第4回 照葉樹林研究フォーラム 参加申込書

てるはの森の会 御中

申込日 平成21年 月 日

参加者氏名				
同伴者氏名				
所属団体名等 あればご記入ください				
参加者連絡先	電話		FAX	
	電子メール		携帯電話	

※ 参加の動機、発表者に対するご意見・ご質問等ご記入ください。

※ この申込書で得た情報は、本事業の目的以外には利用しません。